



## 概要

東川町は、旭川市との間を結ぶ民間路線バスと町内移動を担う町営バスが住民生活に不可欠な公共交通となっているが、利便性の問題等により町営バスの利用が低調であるほか、旭岳・天人峡地区の温泉等観光地への観光交通の充実化も課題となっていることから、利便性を考慮したダイヤ・ルートの変更、地域との協働によるデマンドバスの導入、観光交流の活性化、バス利用の付加価値の向上等により、安心安全に生活できる地域のバス交通の維持及び観光客にわかりやすい観光交通体系の構築を図る。

### 利便性を考慮したダイヤ・ルートの変更(21年度～)

町営バスについて、小中学校や旭川市内の高校に通学する児童・生徒の登下校対応、市街地における買物利用の利便性を高めるため、現行の3路線2台体制から3路線3台体制とし、民間バスへの乗換・接続を考慮したダイヤ・ルートの見直しを図る。

### 地域との協働によるデマンドバスの導入(21年度～)

徒歩圏にバス停がないエリアもあることから利用者が少ない日中時間帯はデマンド化が有効であると考えられるため、デマンドバス導入検証の実証運行を行う。

### 観光交流の活性化(21年度～)

旭岳・天人峡への観光アクセスに重要な役割を担う「いで湯号」、道の駅道草館と旭山動物園を結ぶ「道草号」の利用促進PRや運行内容の充実化等により、観光交流の活性化を図る。

### バス利用の付加価値の向上(21年度～)

商工会等との連携による特典クーポンの発行、バス車内での各種情報発信等、バス利用の付加価値の向上を図る。



## 東川町地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

主な事業内容	協議会開催状況	3回開催	分科会等開催状況	-	回数は、平成21年度末までの開催予定
<b>バスの実証運行</b> ・車両3台体制による実証運行事業 ・デマンド乗合タクシーの実証運行 ・車両購入 <b>観光交流の活性化</b> ・「いで湯号」の利用促進PR活動の充実強化 ・バスとロープウェーとの連携による観光交流活性化	<b>公共交通の利用促進策のためのPR・情報発信</b> ・バス路線情報紙の作成 ・商工会と連携したバス利用特典クーポンの発行 ・バス車内での情報発信 調査・研究等 ・OD・アンケート調査の実施				

## 実施状況

<b>バスの実証運行</b> ・東忠別線、北忠別線、東雲・上岐登牛のダイヤ変更、運行体制(2両 3両)の見直しを実施 ・上記路線日中便(第3～第5便)タクシー車両を使用しデマンド実証運行 ・バス、タクシー車両各1両車両購入 <b>観光交流の活性化</b> ・「いで湯号」の利用促進PRのため、チラシ5,000枚作成・配付 ・住民による観光ボランティアガイドの活用方法を検討 ・バスと旭岳ロープウェーとの共通チケット発行の検討	<b>公共交通の利用促進策のためのPR・情報発信</b> ・時刻表、路線図、停留所等わかりやすいバス路線情報紙3,000枚の作成・配付 ・バス利用者に対して町内の商業施設等連携できる仕組みを検討 ・町営バス車内に情報掲示板を設置しイベント情報等地域に密着した情報発信 調査・研究等 ・実証運行期間中のOD・アンケート調査の実施
---	--

### 自己評価のポイント

・バス運行として一定の好評を受けたが、予想していた利用者層が使われていない便の運行について見直しの必要がある。  
 ・デマンド交通での評価は高いが、申込みに対する利便性が問われている。  
 ・地域公共交通に関する目標やそれを達成するための事業について地域関係者の実質的な合意が形成された。

### 二次評価のポイント

自己評価のとおり。  
 自立性・持続性を持った事業となるよう期待する。